

重要新型コロナウイルス対策についてのごお願い(8月以降)

平素より当事業所にご支援ご協力を賜り感謝申し上げます。

第7波の到来で爆発的な感染拡大局面を迎えており、すでに1日の新規陽性者数が過去最多を上回る日が出ております。また長野圏域では医療特別警報が発令され、感染警戒レベル5に引き上げられました。当事業所でもこの危機的状況をふまえ、厚労省及び自治体発令の感染防止ガイドラインを遵守し安心してご利用頂けるよう更なる感染予防対策を徹底する所存です。ご利用者様にも、下記の通り各ご家庭およびグループホーム等で感染予防に対するお願いを実施頂きますよう宜しくごお願い申し上げます。(裏面の「警戒レベル5の圏域の皆様へのお願い」もご参照下さい。)

記

1 検温の実施、送迎車利用時のマスク着用について

- 各ご家庭、グループホームでの朝の検温は引き続きお願い致します。送迎者への乗車直前(朝・夕)に検温を実施。37.5℃以上体温がある方は乗車できません。また帰宅時も37.5℃以上ある方はご家の送迎をお願いします。乗車時は基本的にマスク着用をお願いします。(猛暑日等は熱中症に配慮した対応をします。)また自家送迎で来所される方も入館前に検温を実施します。37.5℃以上体温がある方は入館できません。(体に熱がこもりやすい方は衣服の調整等事前対応をお願いします。)

2 通所自粛

- 熱が37.5℃以上ある場合や、上気道等呼吸器症状(咳・のどの痛み等)・頭痛・倦怠感等がひどい場合は通所をお控えいただき診療・医療検査機関等へ電話で相談の上受診してください。また必ず当事業所へご連絡をお願い致します。同居家族も上記にあてはまる症状がある場合は速やかにご連絡願います。ご利用者様が通所中に上記症状が出た場合は、自家送迎にてご帰宅をお願いします。

3 ご利用者さま及び同居のご家族が濃厚接触者、陽性者と判定された場合

- 濃厚接触者、陽性者と判定された場合
 - ・必ずご一報下さい。一定期間の利用停止となります。詳細は判定を受けた機関にご確認下さい。
 - ・ご家族が濃厚接触者、陽性者と判定され、ご利用者様が検査を受け陰性だった場合は状況をお聞きした上で通所の可否をお知らせします。

4 通所している他事業所やご家族の職場、学校等で陽性患者が出た場合

- ・上記の3に該当しないかぎり、こちらへ連絡の必要はありません。

5 外出・訪問者等の対応について

- ・県境をまたぐ移動についての制限はありませんが、外出予定のある方は必ず事前に連絡帳にてお知らせ下さい。特にBA5対策強化宣言を発出している都道府県および不特定多数の人が集まる場所(テーマパーク、コンサート会場、スポーツ観戦、イベント等)へ行かれた方は、「健康観察・行動記録表」に記入しご提出願います。また外出後は検査キット(体外診断用医薬品表示がある抗原定性検査キット)を積極的にご活用下さい。2にある症状や体調の変化がある場合は通所自粛をお願いします。
- ・普段往来がない方と会われる場合は、3密を回避しマスク等の基本的予防対策を徹底して下さい。特にこちらへ連絡の必要はありません。

※上記事項に該当する場合はいずれも早めの連絡をお願いします。特に2,3に該当し通所日当日に連絡された場合は通所可否の判断が難しいため在宅支援をお願いする場合があります。ご了承下さい。

※ご利用者様が陽性患者と判定された場合、行政指導等のもと閉所となる場合があります。他のご利用者様およびご家族、関係者等多くの方に影響が出ますので上記のお願いを徹底して頂くようお願い申し上げます。

※大変申し訳ありませんが、当日キャンセルの場合は職員配置の都合上キャンセル料および給食費徴収該当となりますのでご了承ください。

- ・なおご不明な点につきましては☎026-217-7553 担当：乾、木村までお問い合わせください。

感染警戒レベル5の圏域の皆様へのお願い

重症者の発生を最小限に抑え、陽性者の増加を食い止め、医療機関等の負荷を軽減することにより医療のひっ迫を回避しつつ社会経済活動を維持するため、全力を挙げて取り組みます。県民の皆様には、ご自身が感染しないよう、また、他者を感染させないよう、改めて基本に立ち返り、次のように行動していただくようお願いいたします。

令和4年7月28日 長野県知事 阿部 守一

1 重症化リスクが高い方の感染を防ぎましょう

- 重症化リスクが高い方（65歳以上の高齢者、基礎疾患がある方など。）及びその同居者・身近で接する方は、混雑した場所、換気が不十分な場所等、感染リスクの高い場面場所をできるだけ避け、感染しない、感染させない行動を徹底してください。
- 重症化リスクが高い方は、のどの痛み、せき、発熱等の症状がある場合は、速やかに診療・検査医療機関等へ電話で相談の上、受診してください。
- 60歳以上の方、基礎疾患のある方等、医療従事者・高齢者施設の従事者等で3回目接種から5か月経過した方は、重症化予防につながる4回目のワクチン接種を積極的にご検討ください。

2 陽性者の増加に歯止めをかけましょう（社会経済活動維持のためにも重要です）

- お一人おひとりが状況に応じた感染防止対策（適切なマスク着用、換気など）を徹底してください。（感染力が強いBA.5への置き換わりが進み、陽性者数が極めて多いことから、感染リスクが非常に高まっています。）
- 重症化リスクが低い方（65歳未満の方、基礎疾患がない方など。）は、のどの痛み、せき発熱等の症状がある場合は、外出を控え、症状が続く場合は、診療・検査医療機関等へ相談の上、受診してください。
- この夏、帰省や旅行をされる方、お祭り等に参加される方、中学・高校等の生徒及びそのご家族など、若い世代の皆様も、感染リスクを下げるための3回目までのワクチン接種を積極的にご検討ください。
- 飲食店をはじめとする事業者の皆様は、業種ごとの感染拡大予防ガイドラインを改めて確認するなど、感染防止対策を徹底するようお願いいたします。

3 医療機関等の負荷を軽減しましょう

- 重症化リスクが低く、検査キット（薬事承認された抗原定性検査キット）をお持ちの方には受診前に自ら検査することを推奨します。（陰性でも感染していない確実な保証にはなりませんので、マスク着用等の感染防止対策は継続してください。）
- 保健所業務については、入院が必要な方や重症化リスクのある方への対応に重点化しますので、ご理解とご協力をお願いいたします。